指定管理導入施設実績評価シート（令和７年度）

施設所管課	健康福祉部　介護・福祉施設課

施　設　名	大津市立木戸老人福祉センター他4施設
指定管理者	社会福祉法人　大津市社会福祉事業団
指定期間	令和6年4月1日　～　令和11年3月31日
指定管理料	年額132，594，000円（令和7年度）　（総額703，477，000　円）
設置目的	老人福祉法第15条第5項の法廷に基づき、老人の福祉の増進を図るため、市内5か所の老人福祉センターを設置する。
業務内容	（1）　生活、心身等に関する相談及び指導 （2）　保健及び疾病の予防に関する相談及び指導 （3）　後退機能の回復訓練及び回復指導 （4）　教養の向上及びレクリエーション （5）　生業及び就労に関する相談 （6）　その他市長が必要と認める事業 その他、大津市立北老人福祉センター、大津市立東老人福祉センターにおいては、介護保険法第8条第7項に規定する通所介護、同法第115条の45第1項第1号口に規定する第1号通所事業その他の老人福祉法第5条の2第3項に規定する老人デイサービス事業を行う。

所管課総合評価	Ⅰ～Ⅳによる総合評価	総合評価コメント
	B（良好）	令和7年度は東老人福祉センターにおいて入浴事業を廃止し、リニューアルに向けた改修工事を実施した。市との連絡調整を密に行うことで利用者への混乱が生じることなく、適切に事業が運営されたと評価する。中・南老人福祉センターについては、利用状況が好調なことから、今後も現状を維持できるように利用促進を図ること。

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅰ実施体制	**施設の設置目的の達成** □ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	B（良好）	事業計画に基づき　運営している	B（良好）	事業計画に基づき運営されている
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 □ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	B（良好）	事業計画に基づいた職員配置を行なっており、職員の労働条件等においても適正に実施している	B（良好）	事業計画に基づいた職員配置を行なっており、職員の労働条件等においても適正に実施されている
	職員の研修 □ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B（良好）	研修要綱に基づき、介護技術、人権・倫理、リスクマネジメント研修等に職員派遣をしている	B（良好）	研修要綱に基づき、介護技術、人権・倫理、リスクマネジメント研修等に職員派遣されている
	法令等遵守 □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B（良好）	法令・条例を遵守している	B（良好）	法令・条例を遵守されている
	個人情報保護・情報公開 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法（実地調査）	B（良好）	個人情報の取扱いについては、協定書に基づき適切に行なっている	B（良好）	個人情報の取扱いについては、協定書に基づき適切に行われている
	管理記録 □ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 □ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B（良好）	管理記録について適切に整備・保管している	B（良好）	管理記録について適切に整備・保管されている
	連絡体制 □ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 □ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B（良好）	市へ報告すべき事項については、連絡・調整を行ない、報告書等については、速やかに提出を行なっている	B（良好）	市へ報告すべき事項については、連絡・調整を行い、報告書等については、手順に沿って提出されている
	緊急時対応 □ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 □ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B（良好）	緊急時の連絡体制を確保するとともに、マニュアルを整備し、対応している	B（良好）	緊急時の連絡体制を確保するとともに、マニュアルを整備し、対応されている
	《Ⅰ総　括》　業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】		B（良好）		B（良好）	

指定管理導入施設実績評価シート（令和７年度）

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ内容・水準	**施設管理** □ 開館日、開館時間を遵守していたか。 □ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	B（良好）	定められた開館日、開館時間を遵守している また、施設管理運営マニュアルを整備し、職員へ周知徹底している	B（良好）	定められた開館日、開館時間を遵守している また、施設管理運営マニュアルを整備し、職員へ周知徹底されている
	利用状況 □ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B（良好）	入浴事業廃止～リニューアル工事までの間は利用が減るが、その後順調に回復している。	B（良好）	施設利用者は顕著に増加している
	利用者対応 □ 利用許可や案内等、職員の応対は迅速かつ適切に行ったか。 □ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 □ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B（良好）	施設管理運営マニュアルに基づき、利用者対応等適切に対応している	B（良好）	施設管理運営マニュアルに基づき、利用者対応等適切に対応されている
	業務運営（全体） □ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B（良好）	概ね計画どおり実施している	B（良好）	概ね計画どおり実施されている
	自主事業運営 □ 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。 □ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B（良好）	リニューアル前の施設も、リニューアル後の施設も新規の自主事業に取りくむとともに、人気の事業を継続し、利用者の満足を高めるよう努めた	B（良好）	自主事業計画に基づき事業実施されている
	維持管理 □ 施設、設備の保守管理（点検・修繕）を計画的に実施したか。 □ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 □ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 □ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 □ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に実施し、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B（良好）	施設・設備の維持管理を適切に行なっている。また、利用者から新たな要望等があれば応えられるよう努力している	B（良好）	施設・設備の維持管理を適切に行っている。また、利用者から新たな要望等があれば応えられるよう努力されている
	情報提供 □ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 □ ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B（良好）	パンフレットによる案内や事業団ホームページにより情報発信している	B（良好）	パンフレットによる案内や事業団ホームページにより情報発信されている
	環境配慮 □ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B（良好）	省エネ等職員一丸となって取り組んでいる	B（良好）	省エネ等職員一丸となって取り組まれている
	ユニバーサルデザイン等への配慮 □ ユニバーサルデザイン、バリアフリーへの配慮、障害者に対しての合理的配慮の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B（良好）	優先駐車区画の設置など可能な範囲で合理的配慮を行なっている	B（良好）	優先駐車区画の設置など可能な範囲で合理的配慮を行なわれている
	意見・要望・苦情 □ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 □ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B（良好）	センターに意見箱を設置し、利用者からの意見を集約している	B（良好）	センターに意見箱を設置し、利用者からの意見を集約されている
	利用者アンケート □ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B（良好）	３月に生きがい事業・デイサービス事業に関するアンケートを実施	B（良好）	アンケート結果確認
	《Ⅱ総　括》　業務の内容・水準に関する評価 【標準11項目／当施設11項目】		B（良好）		B（良好）	
Ⅲ収支等	**経理事務** □ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 □ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 □ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査（金庫等）	B（良好）	つり銭管理、利用料徴収等適切に管理している また、経理執行状況については、各区分に分け管理をおこなっている	B（良好）	つり銭管理、利用料徴収等適切に管理している また、経理執行状況については、各区分に分け管理が行われている
	収支状況 □ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入―支出はプラスとなっているか。 □ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B（良好）	計画的なデイ閉鎖とリニューアル工事により、介護保険収入や浴室利用料収入は減るが、リニューアル後の施設の利用料は確実に増加している	B（良好）	左記のとおり、支出の抑制に努めている
	経費節減の取組 □ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 □ 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B（良好）	デマンド監視システム等電気使用料の削減に努めている	B（良好）	デマンド監視システム等電気使用料の削減に努められている
	《Ⅲ総　括》　経費の収支等に関する評価 【標準3項目／当施設3項目】		B（良好）		B（良好）	
Ⅳその他（独自の取組等）	**その他** □ 努力事項として掲げた取り組みを推進したか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B（良好）	学生の福祉現場実習について幅広く受け入れを行なっている	B（良好）	学生の福祉現場実習について幅広く受け入れを行なわれている
	《Ⅳ総　括》　その他に関する評価 【当施設1項目】		B（良好）		B（良好）	

指定管理導入施設実績評価シート（令和７年度）

主な成果（全体）

介護保険収入	目標	41,672 千円	⇒	実績	44,050 千円
稼働率	目標	57.6 %	⇒	実績	63.4 %
入浴料	目標	3,720 千円	⇒	実績	4,673 千円
一般及びデイ利用者数	目標	96,163 人	⇒	実績	120,955 人

【指定管理者コメント】

老人福祉センターの愛称が「はぴすこ」に変わり、健康寿命のさらなる延伸に向けた高齢者の健康づくりの拠点として施設の役割が明確になったことから、中老人福祉センターのリニューアルを初めに、昨年４月にオープンした南老人福祉センターにおいても、設備の機能充実や自主事業のPRを行い、これまで施設に来なかった個人志向の利用者や比較的年齢の若い高齢者の関心を惹きつけることができた。既にリニューアルした施設は、利用者が定着するように努め、これからにリニューアルを迎える施設においては、他施設で好評な自主事業等や管理のノウハウを取り入れて利用者数を増やしていく。

【施設所管課コメント】

全項目目標値以上の実績となっていることについて評価する。施設ごとの特徴を生かし自主事業等を実施することで今後の利用者の定着と増加に期待する。

自主事業実施による成果

＜主な自主事業の実施状況＞

事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況（実施・追加・未実施）	特記事項（「未実施」の場合はその理由）
介護予防体操（全センター）	指定自主事業	地域の高齢者を対象とした軽運動教室。	実施	
健康講座・健康測定（北・中・南老）	指定自主事業	理学療法士を講師に腰痛・膝痛の運動の教室を開催。 栄養士を講師に食事や栄養に関する講座として「シニアの為の栄養講座」を開催 看護師を講師に認知症講座を開催。 糖尿病やがん検診の重要性を説明。 食事や栄養に関する講座の実施。	実施	
はぴすこ趣味講座発表会（全センター）	指定自主事業	市内老人福祉センターのサークル間交流を目的とした発表会。	実施	
文化祭（全センター）	自主事業	サークル活動の成果発表、交流の楽しみの場を提供。南老では近隣のこども園の協力を仰ぎ、世代間交流を図った。	実施	
コンサート（全センター）	自主事業	クリスマスなど季節に応じた演奏会を実施。 管弦楽等の生演奏を楽しみ音楽の素晴らしさを共感した。	実施	
朗仁講座（木戸老）	指定自主事業	健康生きがい事業として琵琶湖大橋病院に協力いただき転倒予防体操を実施。「食べる事と話す事」をテーマに言語聴覚士による講演を開催。	実施	
		健康生きがい事業として、ロコモ予防にイスに座ってのヨガ体操を実施、楽器（ハンドベル）を使用した音楽リズム体操を開催。	実施	
体力測定・ニュースポーツ体験（木戸老）	指定自主事業	びわこ成蹊スポーツ大学と共催で、利用者の介護予防につながる体力測定等を実施するとともに学生との多世代交流をした。	実施	
ふれあい喫茶（北老）	自主事業	センター内で憩いの場の提供を目的に年間を通じて喫茶を実施。	実施	
血管年齢検査（北老）	自主事業	琵琶湖大橋病院の医師、関係者による、ABI・骨密度・血糖測定を実施。	実施	
トーンチャイム演奏会（北老）	自主事業	ボランティア活動によるトーンチャイム（ハンドベルのような打楽器）演奏会を実施。	実施	
サロン事業（中老）	指定自主事業	サロン事業として「まぼろしのラジオ体操第３」を紹介。館内放送を利用してジム、サークル参加者が体操。	実施	
サロン事業として（中老）	指定自主事業	毎日館内放送されるラジオ体操に合わせて、ジム利用者、サークル活動利用者全員で体力向上を図った。	実施	
利用者の送迎（中老・南老）	指定自主事業	利用拡大を目的とし、来所が困難な利用希望者を予約制にて送迎を行う。	未実施	運転に習熟した若年層の人材確保が難しく、大津市と協議した上で無料送迎計画は中止とすることになった。
スポーツボイス講座（中老、南老）	指定自主事業	発声しながら身体の柔軟性を高め“音楽にのって”のどの筋肉、体幹、心肺機能を高める介護予防体操を実施。	実施	
運動器具管理・運動指導（中老・南老）	指定自主事業	ジム利用者への健康チェック、器具の説明などを丁寧に行い、利用促進に努めた。	実施	

指定管理導入施設実績評価シート（令和７年度）

口腔ケア教室 （中老、南老）	指定自主事業	歯科衛生士がフレイル予防の観点から講演。 歯周病予防の講座を開催。	実施	
交通安全教室 （中老、南老）	指定自主事業	免許証自主返納促進の説明会を実施。 高齢者に関わる交通事故予防教室を開催。	実施	
映画上映会 （中老・南老）	指定自主事業	高齢者が感銘いただける作品を選んで上映し、感動の輪を共有する。	実施	
まち歩き、ウォーキング （中老・南老）	指定自主事業	古都都市大津ボランティアのガイドをつけて坂本を散策。 南郷地域の埋もれたよいところを探索し郷土愛の醸成を図る。	実施	
スマホ教室 （南老）	指定自主事業	スマホの安全利用と情報収集、コミニケションのツールとしての活用の講座を開催。	実施	
近隣幼稚園・保育園交流（南老） （南老）	指定自主事業	近隣のこども園にサークル団体が訪問し、踊りを披露したり、絵本の読み聞かせを行い世代間交流を実施。	実施	
防犯教室 （南老）	指定自主事業	特殊詐欺対策を学ぶことで、被害防止を図る。	実施	
生活の知恵講座 （南老）	指定自主事業	正月遊び体験やひな祭り飾りつけを通じて、高齢者の経験やスキルを活かして教え合い、親睦も深めた。	実施	
おしゃれのための教室 （南老）	指定自主事業	加齢により難しくなる足指の爪の手入れを、介護美容セラピストにより指導をしてもらい、歩行困難の予防にも役立てた。	実施	
落語寄席 （南老）	自主事業	アマチュア落語家を招き、古典芸能を学ぶとともに笑いを通じて幸福度の充実を図った。	実施	

【指定管理者コメント】

リニューアル前の施設では、抽選で参加を決めなければならないほど人気のある介護予防体操を軸として、健康講座、健康教室を実施することで各年齢層の利用者の健康づくりのサポートを行っている。また常駐の看護師、ドクター（月２回）との相談体制も構築できている。リニューアルした施設では、スポーツボイス講座（発声とリズムを融合した介護予防体操）をメニューに加えてさらにブラッシュアップするとともに、工夫しながら新たな自主事業実施に取り組み集客に努めた。

【施設所管課コメント】

引き続き、利用者の増加や施設の賑わいにつながる事業の実施を期待する。

課題及び課題解決の結果

【指定管理者コメント】

中・南はぴすこの利用者の送迎については、運転に習熟した若年層の方の人材確保が難しく、現職員で対応をせざるを得ない状況になるため、昨今の高齢ドライバーによる交通事故の増加等を踏まえると、不特定の利用者の送迎用務を60歳を超えた職員が担うにはリスクが高く、利用者の安全を最優先に考えた場合、安全で、安定的な送迎サービスを継続して行うことは、現状の体制では回避せざるを得ないとの結論に至り中止とした。

【施設所管課コメント】

中・南はぴすこの利用者向けの送迎について、上記の理由により中止したことはやむを得ないと考える。

特記事項等

※評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準（A～D）は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順

